

平成 29 年度第 4 回いばらき高齢者プラン 21 推進委員会の開催結果について

日時：H30. 2. 7（水）13:30～15:20

場所：県庁舎 11 階 1106 共用会議室

長寿福祉課作成

○出席者

・委員：

出席委員：大田 仁史委員，栗盛 須雅子委員，諸岡 信裕委員，森永 和男委員，相川 三保子委員，政安 静子委員，小柳 賢時委員，斉藤 秀之委員，浅野 有子委員，坂本 達保委員，寺野 紘委員，宇田川 真由美委員，木村 哲之委員，沼田 正人委員，佐野 善則委員，丸山 由美子委員，神戸 礼子委員，伊藤 達也委員，宮原 節子委員（出席委員 合計 19 名）

欠席委員：瀧澤 利行委員，山脇 博紀委員，根本 清美委員，竹内 昌信委員，竹之内 章代委員，三村 真理子委員，日下部 好美委員，（欠席委員 合計 7 名）

・事務局：寺門保健福祉部次長，杉山長寿福祉課長，石塚地域ケア推進室長 外

○議事・進行

13:30～ 1 開会

13:31～ 2 委員長あいさつ（諸岡委員長）

13:32～ 資料確認

13:34～ 議事の公開・非公開の審議（諸岡委員長）

・議事の公開・非公開について諮ったところ，議事（4）地域医療介護総合確保基金（介護分）については，県の平成 30 年度当初予算に係る部分が現在調整中であり，意思形成過程であるため，非公開とし，それ以外は，公開とすることで各委員了承。

13:34～ 3 議事

(1) 「いばらき高齢者プラン 21 第 7 期」の最終原案について

・事務局説明 1（杉山長寿福祉課長）

① 最終原案の前回（第 3 回推進委員会）からの主な変更内容について

政策ビジョン リーフレット，資料 1，2，参考資料 2

② 前回（第 3 回推進委員会）における意見及び対応について 参考資料 1

③ パブリックコメントの実施について 参考資料 4

(2) 第 7 期計画における高齢者人口，認定者数及び各サービス見込み量等について

・事務局説明 2（石塚地域ケア推進室長） 資料 3

(3) 「医療・介護の体制整備に係る協議の場」における協議の結果について

・事務局説明 3（渡辺地域ケア推進室室長補佐） 資料 4

14:00～ (1) から (3) について，各委員からの質疑・事務局応答

・各委員からの主な意見

○ 「団塊の世代」が 90 歳に達し，看取りを迎える，2040 年問題への対応をこのプランにも記載しておくべきである。

○ 2040 年問題に対応するには，これまでの専門職がやってきた「1 対 1」のサービスの提供では対応が間に合わないので，「1 対多」の対応を考えていく必要があり，これもプランに記載すべきである。

○ 「重度化防止」の取組みがこれからは大変重要になる。

○ 国の「健康寿命」だけではなく，県立健康プラザにおいて研究している障害調整健康余命（DALE）の指標についても，高齢者プランにも掲載してほしい。

○ 介護分野において，国では，要介護度の改善などを「見える化」して，その改善に対するインセンティブを，事業者と市町村に与えようという動きがあるが，慎重に対応してほしい。

○ 終末期リハビリテーションについての言及が少ないので，概念図への追記やプランへの記載を追加してほしい。

○ 在宅医療について，自宅で受ける医療のみといった誤解がある。

施設と自宅と両方で受けるものが「在宅医療等」として、国では認識しているはずだが、特に、施設で受ける医療について、認識・理解がないので、定義をきちんと明らかにすべきである。

- 今回のプランの原案に、認知症の方の尊厳保持と地域で支える視点が盛り込まれていることは、大変すばらしいことである。

- ・ 今回の委員会における、委員意見の原案への反映については、諸岡委員長へ対応を一任することで各委員了解。

- 15:05～ (4) 地域医療介護総合確保基金（介護分）について<非公表>
- ・ 事務局説明 4（杉山長寿福祉課長）
    - ① 平成 29 年度実施事業の事後評価（実績見込み）について
    - ② 平成 30 年度茨城県計画（案）の概要について
- 15:15～ (5) その他
- ・ 事務局説明 5（杉山長寿福祉課長） 参考資料 3, 4  
今後の日程等について
- 15:17～ 次長あいさつ（委員への御礼）（寺門保健福祉部次長）
- 15:20 4 閉会